

NPO 法人 ふろんていあタウン工房

ふろたん通信

2019年5月10日

広報センター

No. 30



◆4月10日 グループ団体賛助会員 第1号プロジェクトチーム がスタートしました

主催：ふろんていあタウン工房 後援：まちナビ倶楽部

「スケッチ散歩普及会」スタート記念ミニセミナー

セミナーの講師は「スケッチ散歩普及会」チームリーダーの竹川清和さん、UR 都市機構の前身の日本住宅公団の時代から造園コンサルタントとして都市の緑空間づくりを数多く手がけてきた造園家です。

セミナーの前半は竹川さんの森づくり論、造園専門誌『ランドスケープデザイン』は2016年に「**自然から学ぶ竹川清和さんの森づくり**」というタイトルで特集を組んで次のように紹介しています。一般的にはまっすぐな姿の良い樹をたくさん植えることが美しい森をつくると思うが竹川さんは「悪い樹も良い樹もすべて含め一つの環境をつくっているのが森」と考えている。竹川さんの森づくりはタネ採りから始まる。それは森がどのようにしてできるのかを自然から学ぶためである。そして自然の豊かさを決める土壌動物から昆虫、里山のけものたちの姿まで巧みなスケッチで次々と描いていくのです。

後半は「飯能の自然の回廊」づくり提案時のイメージルートマップにまちの骨格空間スケッチを描いた話に移って、ここからは「**まちナビ倶楽部**」の会津光農さんも加わり居心地観察会というまち歩き調査で描いたスケッチ事例を紹介してもらいました。会津さんは奥さまの千幸さんもスケッチ愛好家で、季節の花たちという植物画集の絵葉書セットを、今回のセミナーの出席者全員にプレゼントしていただきました。感謝！

会場は高円寺の「ぼれやあれ」、桜の季節なのに桜吹雪どころか冷たい雨が窓をたたく嵐の夜の、テーブルを囲んでの和やかなミニセミナーになりました。

竹川清和さんの森づくり論



会津夫妻のスケッチ



「スケッチ散歩普及会」に関心を持たれた方はこちらへ takekawa@kb4.so-net.ne.jp

◆2019年度総会 4月16日にUR linkage会議室で開催

- 議題1. 平成30年度活動報告・会計報告
- 2. 平成31年度事業計画・活動予算(案)
 - ①自然環境整備事業に取り組む団体とのネットワーク形成の推進
 - ②技術研究所の活動と連携したJICA 関連ツアーを検討して実施
 - ③グループ団体賛助会員プロジェクトチームの地域づくり活動推進
- 3. 役員人選
 - (継続) 事務局長・技術研究所長・渉外担当役・監事
 - (再任) 理事長・副理事長・プロジェクト推進室長・広報センター長
 - (退任) 高田睦夫事務局次長→新年度は事務局次長を置かず、西原歩新賛助会員が事務局員として会計業務を担当します。

目的を共有する団体との協力・連携ネットワークをさらに強化し、「令和」の時代も活動を続けてまいります。皆様のご支援よろしくお願いいたします。

◆「**ミャンマー祭り2019**」2013年にスタートした「ミャンマー祭り」、今迄も飲食コーナーの「びるまの豎琴」で食事をしたり、「ミンガラバー・ユネスコクラブ」と「ピース・イン・ツアー」の協働テントに立ち寄りたり、「dacco.」のテントでは突撃インタビューを行ったりしながらミャンマー文化に触れてきました。**5月25・26日 春の芝増上寺に出かけ「ミャンマー祭り」を楽しみましょう!**